

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決 算 額
		目	10 交通安全対策費	9,381千円	8,590千円
	担当課決算額			9,381千円	8,590千円

○交通安全対策事業 8,590千円
交通事故ゼロを目標に、各種団体と連携し、交通安全対策の取組みを行いました。
また、交通災害共済事務も行いました。

(各種団体)

- ・町交通安全指導員(24人)
- ・町交通安全母の会(9地区)
- ・町交通対策協議会
- ・町交通部長会
- ・八橋交通安全町連絡協議会
- ・八橋署管内交通安全母の会連絡協議会
- ・八橋署管内交通安全指導員連絡協議会
- ・県中央R9交通安全対策協議会

(行事・大会)

- ・年4回の交通安全運動(街頭啓発・広報等)
- ・交通安全教室実施16回)
- ・飲酒運転撲滅活動

(交通災害共済)

加入者数 13,683人(加入率 71.4%)

見舞金請求件数 55件

「成果」 警察・交通安全協会など各種団体と協力し、地域住民の安全確保を実施した。

「課題」 年々加入者減となる交通災害共済のあり方について検討する必要がある。

款	2 総務費	項	5 統計調査費	最終予算額	決 算 額
		目	1 統計調査総務費	6,245千円	6,232千円
担当課決算額				6,245千円	6,232千円

○人件費 6,228千円
一般職1名
○統計調査事務事業 4千円

款	2 総務費	項	5 統計調査費	最終予算額	決 算 額
		目	2 指定統計費	7,844千円	7,839千円
	担当課決算額			7,844千円	7,839千円

○指定統計調査事業 7,839千円
統計法に基づく指定統計調査を実施しました。
平成22年度指定統計調査
・平成22年国勢調査(基準日 10月1日)【速報値 18,535人】
・平成22年学校基本調査(基準日 5月1日)
・平成22年工業統計調査(基準日 12月31日)
・平成22年経済センサス調査区管理
・2010年世界農林業センサス事後
・平成22年度鳥取県人口移動調査
・統計調査員確保対策事業
「成果」 国勢調査をはじめ、各種統計調査を確実に実施できた。
「課題」 業務を確実に遂行できる統計調査員を確保する必要がある。

○中小企業小口融資 28,177千円

町内の中小企業の運転、設備に要する経費に対して審査会で審査し、融資を行い経営の安定を図りました。(審査員報酬を含む) 審査会は年5回実施。

金融機関への預託による融資実行実績

種別	預託金額	件数
継続融資	19,406千円	
年度融資	3,821千円	8
計	23,227千円	

○同和地区中小企業特別融資 1,031千円

同和地区中小企業の運転、設備に要する経費に対し、継続して預託することにより経営の安定を図りました。

金融機関への預託による融資実行実績

種別	預託金額	件数
継続融資	5,926千円	
計	5,926千円	

種別	補助金額	件数
保証料補助	21千円	1
損失補償金	1,011千円	2

「成果」 融資を行うことにより、経営の安定化及び設備投資を支援することができた。

「課題」 小口融資審査委員数(現13名)の適正化について検討する必要がある。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決 算 額
		目	3 観光費	28,680千円	28,103千円
		担当課決算額			28,680千円

○一般事務 10,369千円

観光関係のイベント、観光パンフレット印刷、観光看板の設置、観光関係団体への負担金等の補助を行い、観光の振興を図りました。また、旧中井旅館の維持管理を行いました。

交付団体

町観光協会、八橋振興会、とっとり梨の花広域観光協議会、県観光連盟、山陰観光連盟
大山遭難防止協会、大山山麓観光推進協議会、大山国立公園協会 他7団体

「成果」 各種団体へ補助等を行うことにより、各々の活動に資することができた。

「課題」 各種団体への補助金額の適正化について検討する必要がある。

○船上山管理運営 1,557千円

船上山のさくらの里トイレ、茶園原休憩所、駐車場周辺の施設の維持管理を行った。

「成果」 各種団体に委託することにより、各々の活動に資することができた。

「課題」 各種団体への委託金額の適正化について検討する必要がある。

○道の駅ポート赤碕運営管理事業 3,731千円

施設の維持管理を適切に行った。

22年度利用者数:約40万人(推計)

「成果」 施設を適切に維持管理することにより、道の駅利用者への利便を図ることができた。

「課題」 人件費、負担金等の適正化について検討する必要がある。

○白鳳祭

5,150千円

第20回白鳳祭を開催するにあたり白鳳祭実行委員会へ補助を行いました。

開催日:平成22年8月8日 場所:前夜祭 カウベルホール 参集人数:約200人

本祭 東伯総合公園 参集人数:約3000人

「成果」 地域の芸能・文化を再認識する場を設け、地域への誇りを持つための機会をつくつ

「課題」 住民参加型・協働による運営方法を検討する必要がある。

○船上山さくら祭り運営事業

1,800千円

第19回船上山さくら祭りを開催するにあたりさくら祭り実行委員会へ補助を行いました。

開催日:平成22年4月25日 場所:船上山万本桜公園 参集人数:約3,000人

「成果」 県内外よりおおくのお客様に來場していただくことで、文化・経済・観光の振興が図れ

「課題」 自主財源確保を検討する必要がある。

○一向平森林体験交流センター管理事業

1,564千円

施設の管理と環境美化に努め、周辺自然環境を保全し、センター利用者、大山滝や中国自然遊歩道來訪者の利便を図りました。

「成果」 一向平森林保全協会に委託することにより、各々の活動に資することができた。

「課題」 一向平森林保全協会への委託金額の適正化について検討する必要がある。

○一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業

3,175千円

施設の管理と環境美化に努め、周辺自然環境を保全し、キャンプ場利用者、大山滝や中国自然遊歩道來訪者の利便を図りました。

・來訪者 10,905人

・キャンプ場利用者 960人

「成果」 一向平森林保全協会に委託することにより、各々の活動に資することができた。

「課題」 一向平森林保全協会への委託金額の適正化について検討する必要がある。

○大山滝祭事業

27千円

一向平山開きを実施して観光の振興を図りました。

「成果」 一向平の観光に資することができた。

「課題」 継続事業

○駅前自転車置場管理運営事業

221千円

駐輪場の一般管理を行いました。

「成果」 駐輪場の管理の充実を図った。

「課題」 違法駐輪等の監視体制の構築。

○平城遷都1300年祭

628千円

琴浦町観光PRの一環としてイベントに参加しました。法隆寺式伽藍配置をとった齊尾廃寺及び出土品のパネル展示や、白鳳太鼓の演奏等を行いました。

「成果」 本町の文化・歴史などの魅力を発信し、観光客誘致のPRを行った。

「課題」 継続した取組が必要である。

款	6 総務費	項	1 商工費	最終予算額	決 算 額
		目	4 勤労者体育センター運営費	1,342千円	1,276千円

担当課決算額

1,342千円

1,276千円

○勤労者体育センター管理運営事業

1,276千円

勤労者体育センターの適切な管理運営を行い、利用者の健康増進を図りました。

東伯勤労者体育センター 利用者数 7,790人

赤碕勤労者体育センター 利用者数 2,424人

「成果」 勤労者体育センターの管理運営を行い、利用者の健康増進を図った。

「課題」 施設の維持管理費用の適正化を検討。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決 算 額
		目	5 地域振興費	87,147千円	86,063千円
担当課決算額				87,147千円	86,063千円

○地域活性化基金事業 127千円
地域活性化基金の利子を基金に積み立てました。

○コミュニティ助成事業 12,900千円
(財)自治総合センターが実施する地域活動団体への助成事業によりコミュニティ(部落などの地区住民組織)の醸成を図るため各部落の区長及び各所属長からコミュニティ助成事業の要望をとりまとめ、下記の事業を実施しました。

・平成22年度助成団体一覧

申請団体	事業	金額	区分
上法万	除雪機導入	1,100,000円	一般コミュニティ
下中村	公民館備品購入	1,800,000円	一般コミュニティ
下大江	公民館備品購入	2,100,000円	一般コミュニティ
上野	公民館備品購入	2,400,000円	一般コミュニティ
矢下	除雪機導入	1,400,000円	一般コミュニティ
光	公園遊具購入	2,200,000円	一般コミュニティ
下市	祭り用品購入	1,900,000円	一般コミュニティ

「成果」 助成を受けたことにより、住民組織の醸成が図れた。

「課題」 東日本大震災の影響により、採択数の減少が懸念される。

○きらりタウン定住促進事業 3,236千円
環境共生モデル住宅団地「きらりタウン赤碕」の販売を促進し、住民の定住化により地域振興を図りました。

・きらりタウン赤碕定住促進謝礼金 700千円(100千円×7件)

・定期借地権付土地活用の広報費負担金 2,500千円

「成果」 5件(内、町内4件、県内1件)の入居があった。(予算は、建設課)

「課題」 継続したPRが必要である。

○日韓友好交流公園管理運営事業 4,695千円
日韓友好を推進するため国際交流の象徴ならびに観光資源として有効活用するために施設の管理運営を行いました。

平成22年度入館者数:30,633人

「成果」 日韓文化交流促進ウィーク期間中に「韓国伝統結婚式(模擬)」を開催し、約180名の参加があった。

「課題」 継続した取組が必要である。

また、資料館内の展示物の入替をし、資料の充実を図らなければならない。

○国際交流の推進 2,826千円
日韓交流を軸に国際交流の推進を図りました。

・蔚珍郡視察訪問団受入(4月)

・蔚珍郡表敬訪問(6月)

・麟蹄郡白鳳祭訪問団受入(8月)

・麟蹄郡合江文化祭訪問(10月)

・韓国旅行支援事業補助金(2件 48千円)

・日韓親善交流野球選手団派遣補助金(200千円)

「成果」 交流先との良好な関係が保てた。

「課題」 現在の文化交流をどう発展させるか検討が必要である。

行政主体の交流から民間主体の交流へシフト。

- 国際交流員設置事業 4,730千円
韓国からの国際交流員を1名設置し、交流事業、学校や地域住民への語学指導等を実施するなど、国際交流の推進を図りました。
「成果」 韓国語講座や学校等の訪問により、住民の国際理解を深めた。
「課題」 これまで実施した事業の他、国際交流員の企画による事業の実施が望まれる。
- 交流ネットワーク事業 483千円
農水産物等の地元特産品を詰めあわせた、ふるさと宅急便を企画し、県内外にPR・販売し地元産品の販売促進を図りました。
・「ことうら三昧ふるさと便」 販売個数605個
「成果」 本町特産品を県外に送り出すことで、知名度向上に貢献した。
「課題」 新規購入者の開拓を目指さなければならない。
琴浦会会員相互の親睦及び情報交換を図り、併せて本町の発展・活性化に寄与することを目的に活動を行いました。
・琴浦会会員数 126人(東日本地区50人 西日本地区76人)
「成果」 会員へ町報や事務局だよりを毎月送付し、ふるさとの情報を提供した。
「課題」 会員が年々減少しており、会員のメリットを検討しなければならない。
会員へは、町のアドバイザーとして活動を期待する。
- 移住定住促進事業 517千円
琴浦町へのUJIターン者に対し、所要の助成措置を講ずることにより、町外からの移住による人口の増加と定住の促進を図りました。また、地域の活性化及び空き家の増加に伴う過疎化、環境の悪化等を防止する目的で、UJIターン希望者へ提供する空き家の登録を推進しました。
・移住定住奨励金 330千円(県外からの移住実績1件)
・IJUターン相談会の開催(7月・10月・2月(大阪))
・とっとり田舎暮らし体験ツアー開催(8月)
「成果」 大阪府八尾市から1名空き家を利用して移住された。
「課題」 県外でのIJUターン相談会に積極的に参加し、継続したPRが必要である。
IJUターン希望者の多くが就農を希望されており、支援策を検討する必要がある。
- 八橋ふれあいセンター管理事業 708千円
施設を維持管理し地域住民の交流の場として活用し、地域の活性化を推進しました。
「成果」 八橋振興会へ指定管理し、施設の維持管理に資することができた。
「課題」 八橋振興会への委託金額の適正化について検討する必要がある。
- 三本杉ふるさと分校管理事業 452千円
施設を維持管理し地域住民の交流の場として活用、活性化を推進しました。
「成果」 三本杉ふるさと分校管理委員会指定管理し、施設の維持管理に資することができた。
「課題」 三本杉ふるさと分校管理委員会へ施設備品等の費用も出費いただくことの検討。
- バス交通対策事業 55,389千円
町内統一100円運賃バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保等を行いました。
・バス交通対策補助(日ノ丸自動車) 9,386千円
(倉吉～赤碕広域路線)
・町営バス運行委託料(日ノ丸自動車) 44,683千円
「成果」 町内バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保を実施した。
「課題」 町営バス路線を含む適正な新交通体系の検討。
- バス交通対策事業(繰越) 2,523千円
町営バス車両を改造し、公共交通の維持を図った。
「成果」 町内バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保を実施した。
「課題」 町営バス路線を含む適正な新交通体系の検討。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決 算 額
		目	6 緊急雇用創出事業費	35,272千円	34,911千円
担当課決算額				8,262千円	8,261千円

Ｃ 緊急雇用創出事業 8,261千円

厳しい雇用失業情勢にかんがみ創設された鳥取県緊急創出事業臨時特例基金を活用して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者、未就職卒業者等の失業者に対して次の雇用まで短期の雇用・就業機会の創出を図りました。

(委託事業)

- ・観光資源整備事業(船上山) 新規雇用 2人
- ・観光資源整備事業(万本桜公園整備) 新規雇用 3人
- ・公共施設整備事業(学校、保育園等) 新規雇用22人

(直営事業)

- ・農・建設施設等環境整備事業 新規雇用14人 6ヶ月更新延べ人数
- ・イベント支援事業 新規雇用 2人
- ・林道台帳デジタル化事業 新規雇用 2人
- ・賦課徴収事務 新規雇用 2人
- ・環境整備事業 新規雇用 4人
- ・保育支援事業 新規雇用 2人

計 53人 事業全体人数

＜事業の成果と課題＞

国庫支出による県補助事業により、町としての雇用事業が展開でき、延べ53人の雇用が確保できた。草刈作業を中心として環境整備が図られた。H23年度が補助年限であり、次年度以降の事業実施のあり方が課題。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決 算 額
		目	7 ふるさと雇用創出事業費	43,763千円	43,763千円
担当課決算額				38,763千円	38,763千円

〇 ふるさと雇用創出事業 38,763千円

厳しい雇用失業情勢にかんがみ創設された鳥取県雇用再生特別基金を活用して、地域の雇用再生のために、地域求職者等を雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施し、継続的な雇用機会の創出を図りました。

- ・琴浦地域ブランド商品の開発、販路拡大事業及び食品リサイクル事業や堆肥の農業利用を促進する事業 新規雇用 8人
- ・旅行商品販路開拓事業 新規雇用 1人
- ・地上デジタル放送相談窓口事業 新規雇用 1人
- ・観光振興事業 新規雇用 2人
- ・障害者相談支援事業 新規雇用 1人

計 13人

琴浦グルメストリートプロジェクトを始め、町内ブランド商品の開発活動が活発に実施できた。旅行商品の開発は難題であるが、琴浦町観光知名度アップに貢献した。緊急雇用事業同様に、H23年度が補助年限であり雇用継続とあわせ、活動の縮小が懸念される。

款	2 総務費	項	9 きめ細かな臨時交付金事業	最終予算額	決 算 額
		目	1 きめ細かな臨時交付金事業	23,431千円	21,634千円
担当課決算額				23,431千円	21,634千円
○きめ細かな街路灯・勤体・自転車置き場修繕事業 16,170千円 赤碕駅前自転車置き場改修工事 13,986千円 赤碕勤労者体育館屋根改修工事 893千円 東伯勤労者体育館トイレ改修工事 410千円 上記3施設の改修工事を実施し、施設の維持管理を図った。 「成果」 3施設の改修工事を実施し、施設の維持管理を図った。 「課題」 各施設において、修繕の必要時期の適切な見極めが必要。 ○きめ細かな観光看板設置事業 5,464千円 琴浦パーキング活性化施設案内看板設置工事 5,464千円 「成果」 23年度にオープンする「物産館ことうら」のPRをすることができた。 「課題」 中山名和道路がH25年度に開通するまでは、看板が見えにくい。					